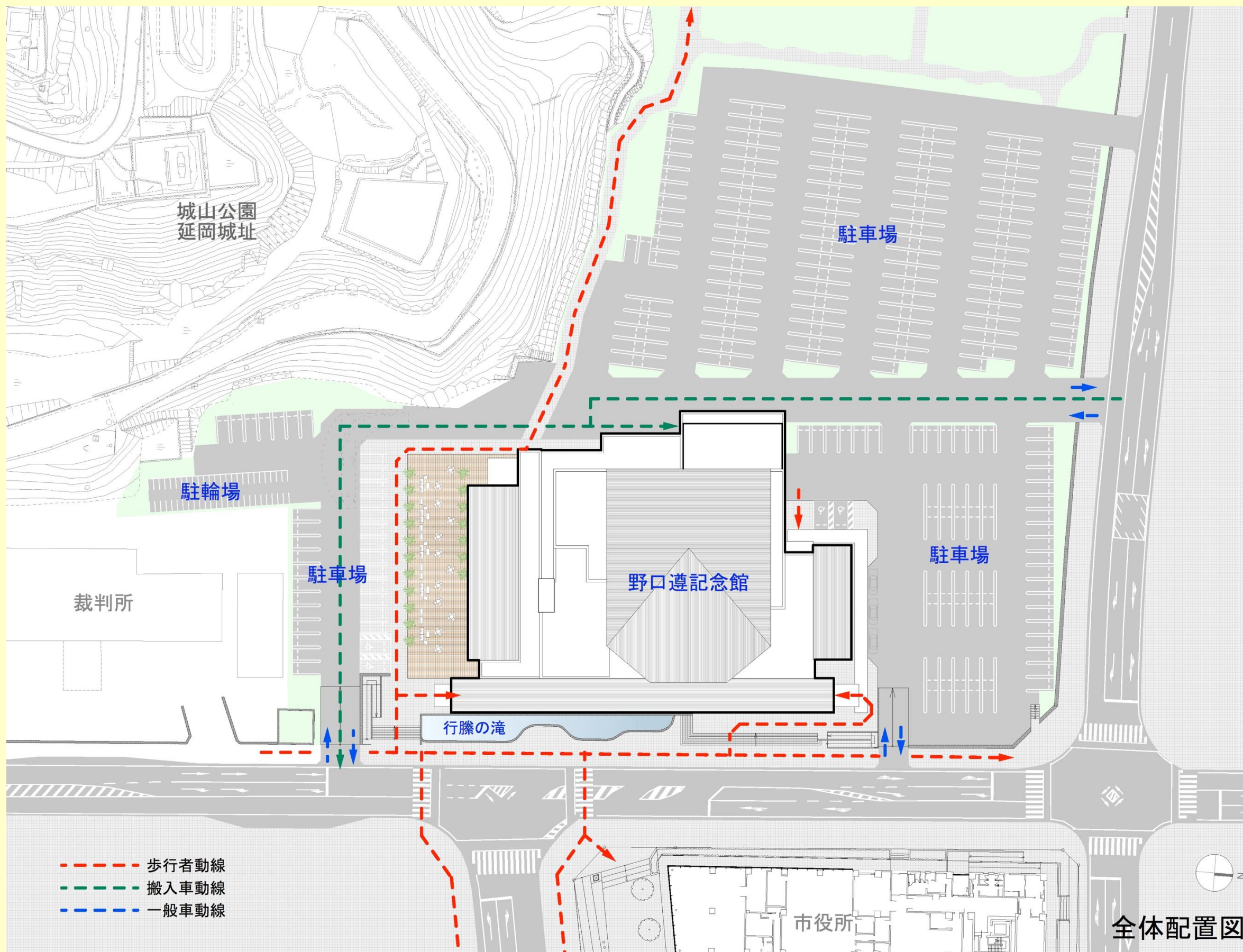


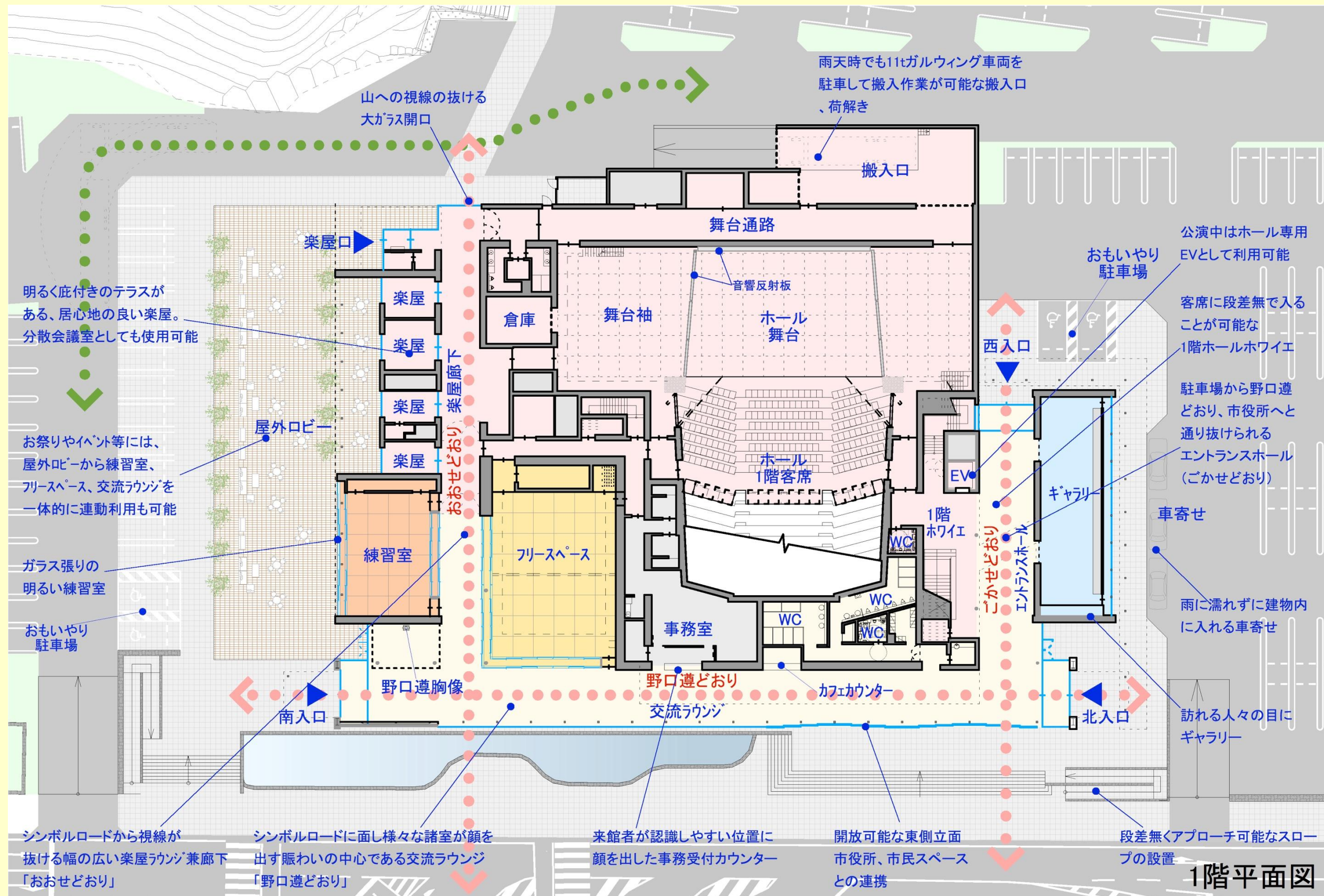
外観イメージ図



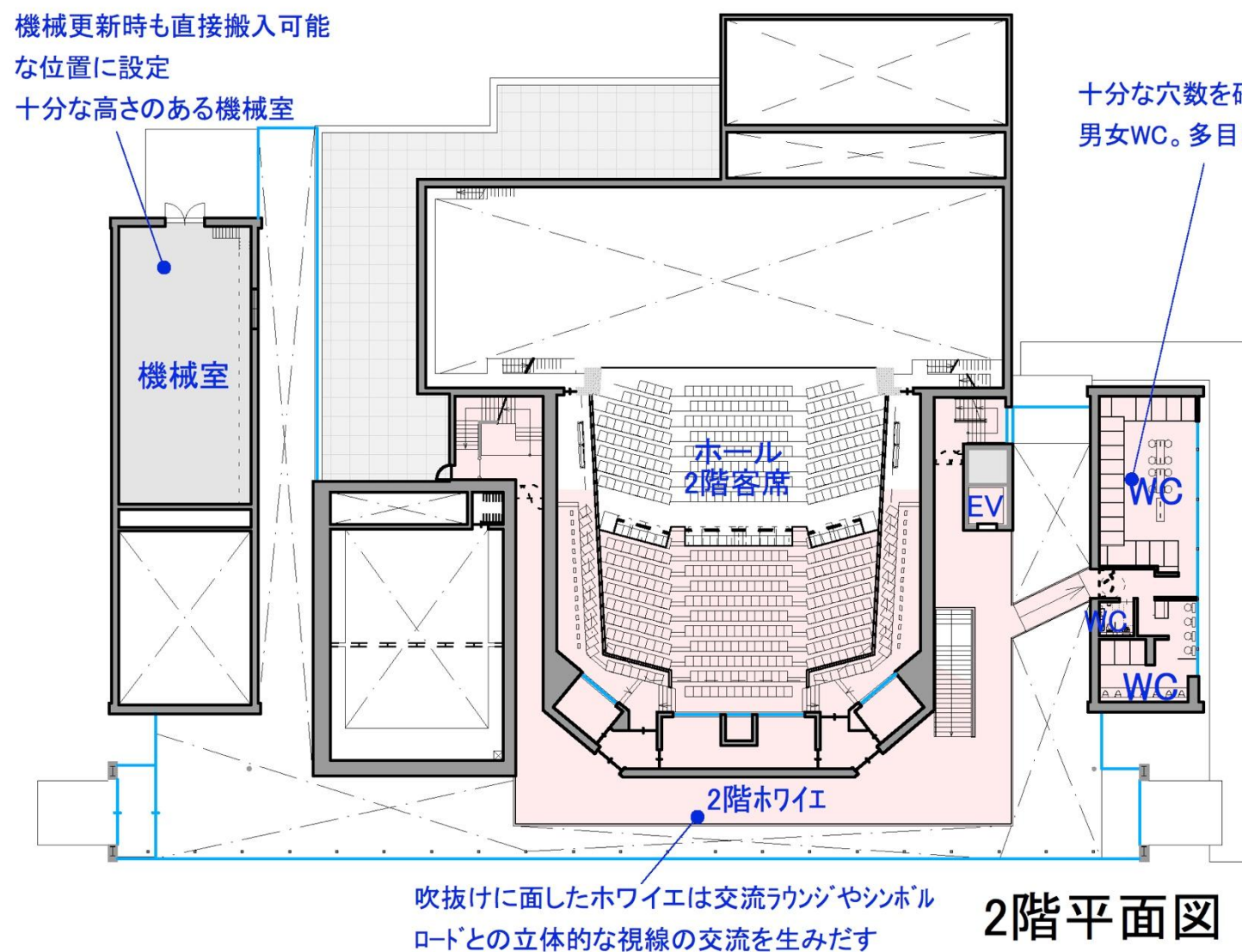
延岡の新しい歴史文化ゾーンの「門」となり、まちを照らす灯となるイメージ



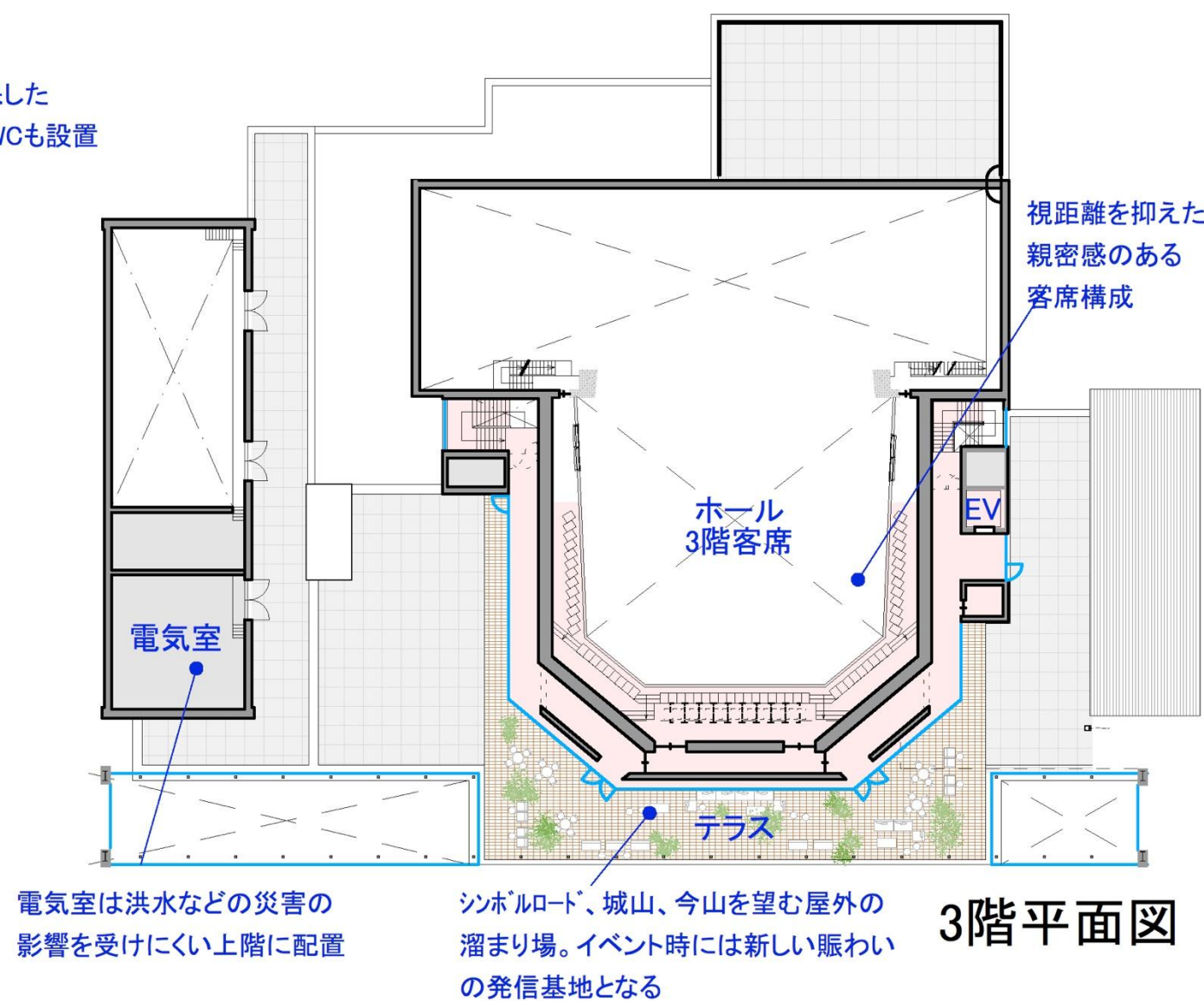
全体配置



1階平面図



2階平面図



3階平面図



交流ラウンジ 天井イメージ (市産材活用)

交流ラウンジ 壁面イメージ (市産材活用)

1階 野口遵どおり イメージ図



ホール

音楽を主目的とするホールに相応しい明るく上品な空間を目指す。二層分の高さの壁が客席の三方を取り囲み親密な一体感のある空間を形成する。この壁面に市産材を利用した木ルーバーを全面的に設置する。木ルーバーは音を拡散させ豊かな音響をつくりだすと同時に木の素材感が温もりのあるやさしい印象をつくる。フォアロースポットレベルより上部はハイサイドライトとし自然光を取り込むことが可能な計画とする。自然光の取り入れは客席の明るさと快適性を高めるだけでなく、清掃時に照明をつける必要がなくなるので省エネルギー化も期待できる。天井は音響拡散効果を高めるために波打つように連続する曲面形状とする。客席椅子は2時間座り続けられることを追求し、生地は延岡市の特徴を表現できるものを検討する。

客席数

1階席 508席(車いす席2席)
 2階バルコニー席 84席(立席30席、多目的席8席含む)
 3階バルコニー席 79席
 合計 671席

※車いす席は客席を取り外すことにより、最大で26席確保可能

舞台サイズ

主舞台:間口8間 / 奥行き6間
 袖舞台:上手袖6間×6間 / 下手袖7間×6間
 プロセニウム詳細:PW 9.5間 袖膜で調整可
 PH 6.2m~9.5m 可動プロセニウム
 視距離:最大視距離 21.9m / 1階客最大視距離 20.7m
 反射板:可動式音響反射板の設置
 座席:座席幅 520mm / 椅子背の間隔 950mm

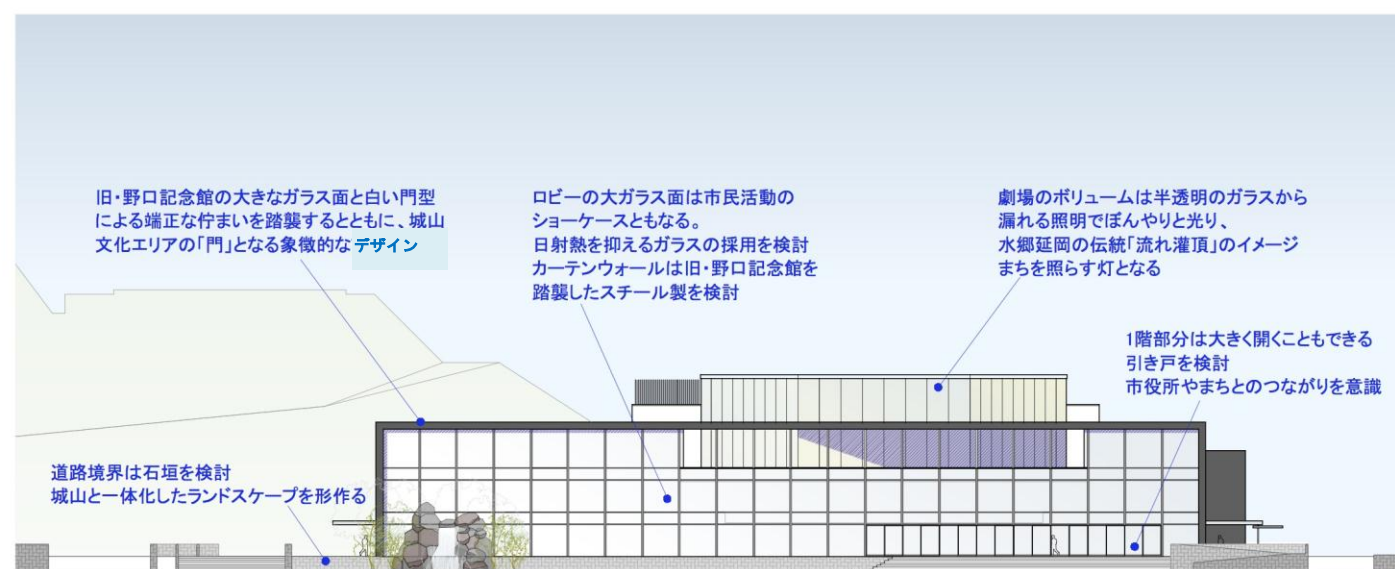
ホール イメージ図

仕上概要書

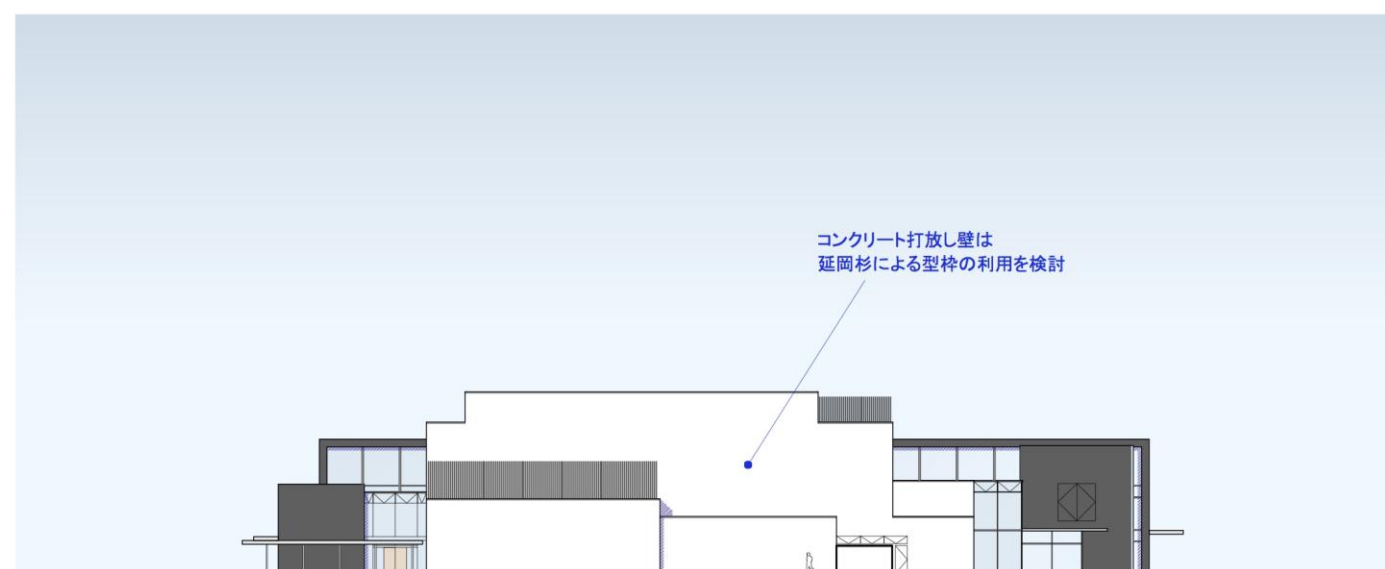
立面計画

- ・シンボルロードや市役所に面した東面は、旧・野口記念館の大きなガラス面と 門型による端正な佇まいを踏襲するとともに、城山文化エリアの「門」となる象徴的なデザインとする。
- ・北面、南面にも門型を形成し、城山側と駐車場側にも表情をつくる。
- ・景観条例上の限界高さまで突出する劇場のポリュームは 半透明のガラスで覆う。漏れる照明でぼんやりと光り、水郷延岡の伝統「流れ灌頂」のイメージでまちを照らす灯となる。
- ・コンクリート打放し壁は延岡杉による型枠の利用を検討する。

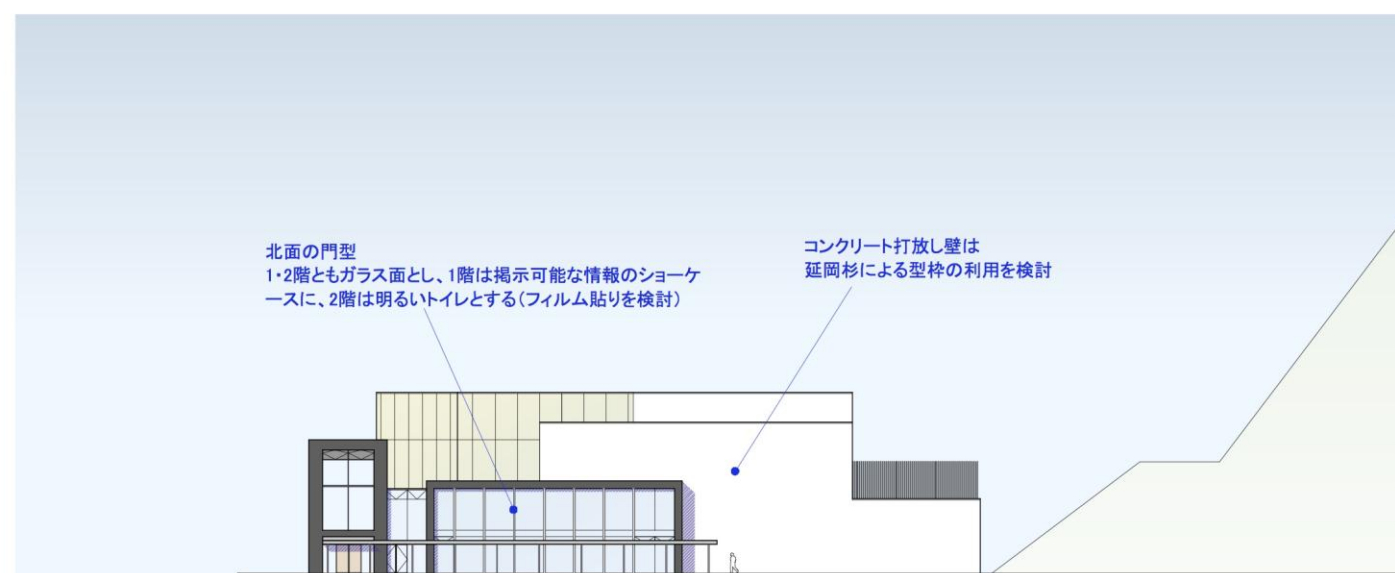
- ・市役所やシンボルロード、またはテラスなどと内部空間が容易に繋がるように開け放つことができる建具の採用を検討する。
- ・その他各所で地元建材の採用を検討する。



東面立面図



西面立面図



北面立面図



南面立面図